MAN-362C　FV46　2016年3月1日発行

LIXIL

リビング建材 ウッディーライン 中折れドア 取付け説明書

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

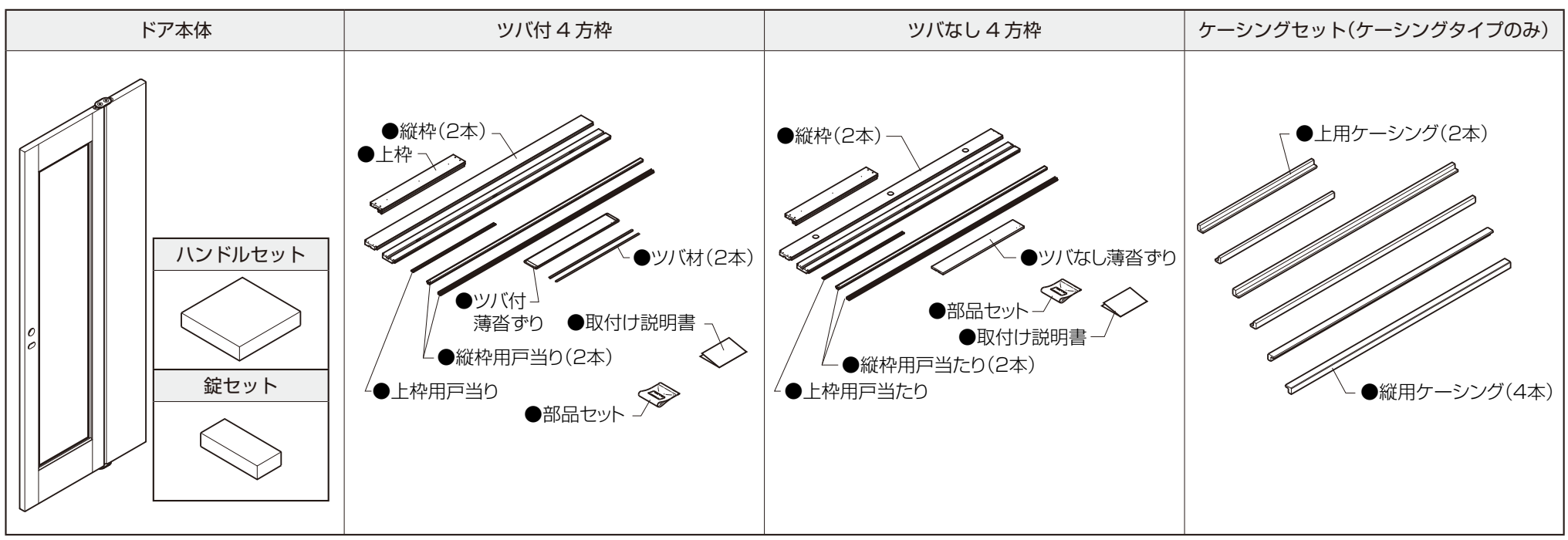
■取付け上のお願い

●枠取付けの際は、水準器・下げ振りなどで水平・垂直を確認してください。
●造作材・建具枠を取付けるときは、必ず接着剤（現場手配）を併用してください。
　かい木を使用する場合は、かい木の両面に接着剤（現場手配）を塗布してください。
●現場で使う接着剤は、「F☆☆☆☆」又はノンホルムタイプを使用してください。
●本製品のねじ締付け時には、クラッチ付きドライバーを使用してください。
　締付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれたりする場合があります。
●各部材のガイド穴にゴミが入らないようにしてください。
●本製品の組立て・取付け時には、同梱の指定ねじを使用してください。
　他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や、枠の垂下がり・ゆがみなどの原因となります。
（本説明書内で「現場手配」と記されている場合は除きます。）
●組立てねじは、縦枠とねじ頭が面一になるまで締め込んでください。
　ただし、叩き込まないようにしてください。保持力低下の原因となります。
●壁内の通気が悪く、内部結露が発生するおそれがある場合は、防水処理をしてから取付けしてくだい。
●造作材・建具枠と柱・間柱・まぐさとの間には必ずすき間をつくり、かい木を入れてください。
●造作材・建具枠をコンクリートやモルタル（床面）に直付けしないでください。
　やむを得ず直付けする場合は、造作材・建具枠木口と床面の間に、必ず防水処理をしてください。
●造作材・建具枠の下地材及び、かい木には、必ず乾燥材（含水率20%以下）を使用し、湿潤材は使用しないでください。
●枠の組立て後、揺らす・ねじれ・引張りなど無理な力を加えないでください。破損する原因になります。
●床材とツバ付薄沓ずりのすき間は5mm以内にしてください。
　ただし、キャスターや車いすなどの荷重がかかる場合は、すき間をあけないでください。
　ツバ材の取付けは、ハンマーなどで強くたたき込まないでください。
●戸当りは、ハンマーなどで直接たたき込まないでください。
●枠は倒れ、傾き、たいこ、つづみ、ねじれがないように取付けてください。
●納品時に各部材・部品を検品してください。万一製品に不具合があった場合は、必ず取付け前にお買い求め店までご連絡ください。
　（施工後の色調・不具合・キズなどによる交換はできません。）
●本体は落下させたり、立てかける時に衝撃を与えないでください。本体部品が損傷し、開閉に支障をきたす原因になります。
●軽量鉄骨に直接取付ける場合は、同梱のねじでは取付けできません。現地にて鉄骨までかかる長さのねじを手配してください。
●取付け時の建具養生などは、ダンボール、ミラーマットなどを使用し、粘着力の強いテープ（ガムテープ、養生テープなど）を長い時間建具表面に直貼りしないでください。
　テープを剥がす際、表面シートを傷めたり、またテープそのものの粘着剤が表面に付着したまま残ることがあります。
●運搬・加工の際は、キズ付かないように取扱ってください。

■本体保管上のお願い

●本体のソリ・ねじれ防止のため、下記場所に置いたり、保管しないでください。
　・直射日光の当たる場所　・昼夜などで温度差の激しい場所　・湿気の多い場所
●本体を長期間保管する場合は、寝かせた状態で保管してください。立て置きでの保管はソリ・ねじれなどの原因になります。
※建築工事中は、本体を養生・保全のため取外しておき、取付け完了後に吊込むことをおすすめします。

■部品・部材の明細



■ 枠セット明細

	ツバ付 ４方枠	ツバなし ４方枠
縦　枠	2	2
上　枠	1	1
戸当たり	縦2･上1	縦2･上1
薄沓ずり	1	1
ツバ材	2	−

■ ケーシングセット明細

上用ケーシング	2
縦用ケーシング	4

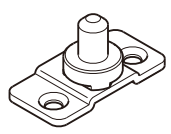
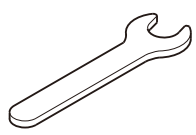
■ ハンドルセット明細

ハンドルセット	1 組
台座セット	1 組
ハンドル固定ねじ	1 本

■錠セット明細

錠座セット	1 組

■ 部品セット　標準ドア・トイレドア用《枠用部品セット》

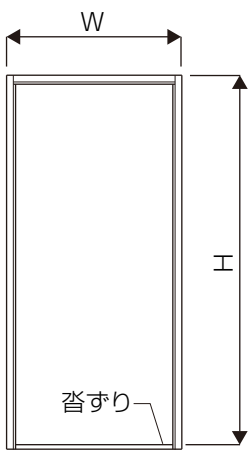
下ピボット	皿タッピンねじ φ4×16	皿小ねじ M4×50	トラスタッピンねじ φ4×25	DNビス(皿木ねじ) φ3.8×50	スパナ
	 (下ピボット取付用)	 (枠組立て用)	 (ツバ付薄沓ずり取付け用)		
1	2	ツバ付4方枠：8／ツバなし4方枠：4	4	9	1

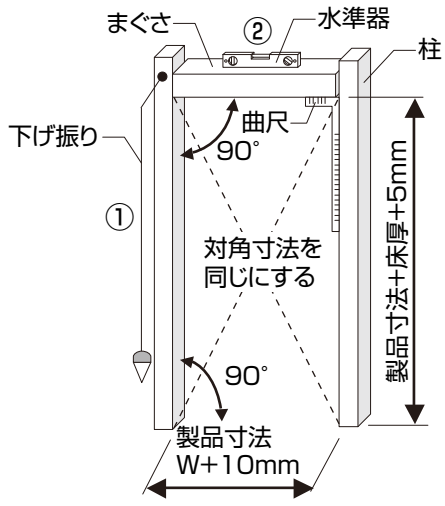
■開口部の確認

■ 取付け範囲(単位:mm)

	ケーシングタイプ		木造用ノンケーシングタイプ		
	薄壁用	厚壁用	NC156	NC171	NC180
対象壁厚	111 ～ 141	142 ～ 182	116 ～ 130	131 ～ 145	146 ～ 160

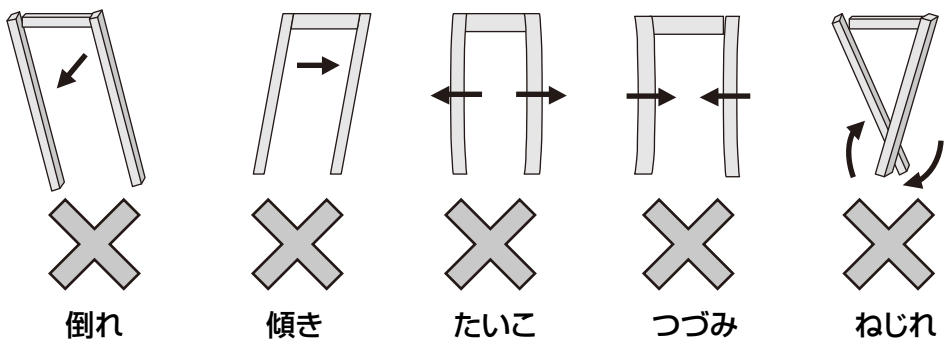
●製品寸法





①下げ振りを使って、柱が垂直になるように取付けてください。
②水準器･曲尺を使って、まぐさが柱と垂直で、水平になるように取付けてください。

※柱、床、まぐさの水平･垂直がでていないと、枠が下図のようになり、不具合現象につながります。

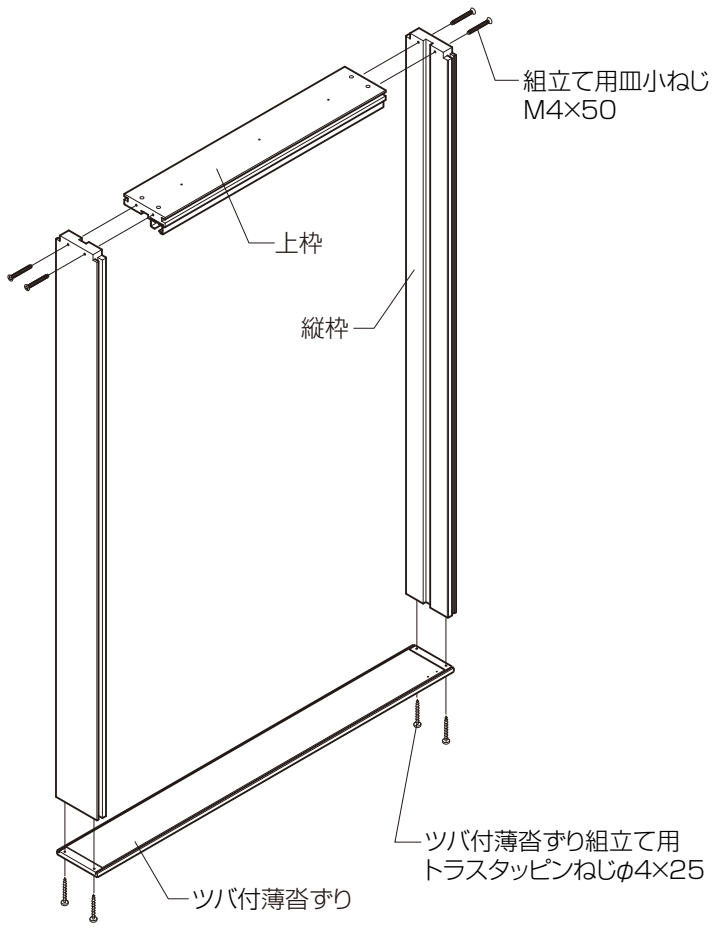


■取付け順序

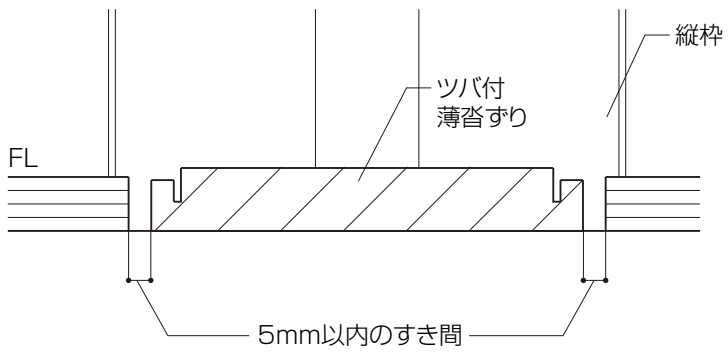
1 枠の組立て

【ツバ付４方枠の場合】

①下図のように各部材を組合わせ、同梱のねじで固定します。



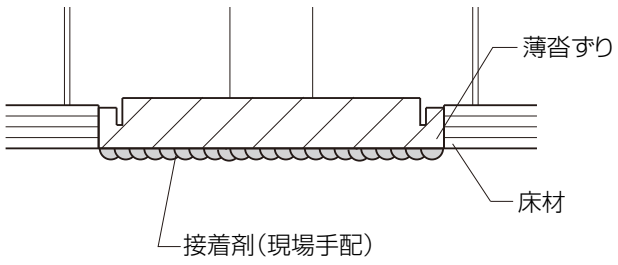
②枠の取付け後、下図のように床材を張ってください。



■躯体への取付け方

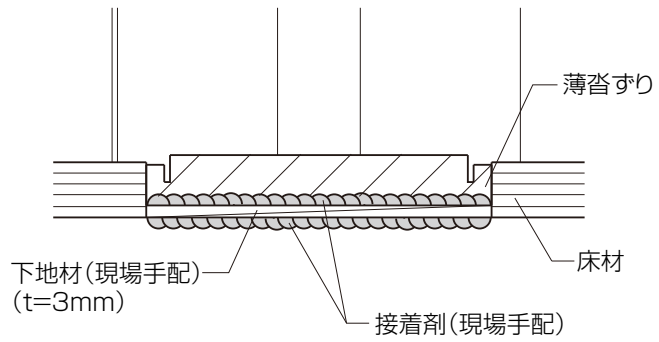
●床材厚さ12mm

※必ず薄沓ずりに接着剤（現場手配）を付け、躯体に固定してください。



●床材厚さ15mm

※必ず薄沓ずりと下地材に接着剤（現場手配）を付け、躯体に固定してください。



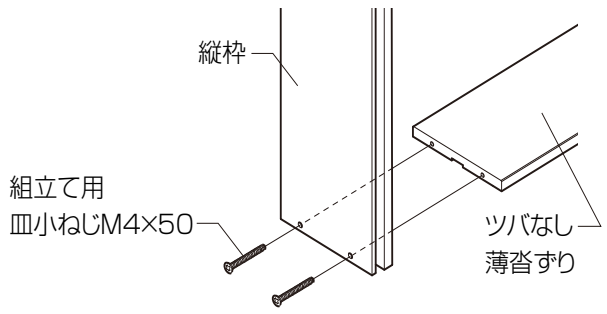
お願い

※床材とツバ付薄沓ずりのすき間は 5mm 以内にしてください。
ただし、キャスターや車イスなどの荷重がかかる場合は、すき間をあけないでください。

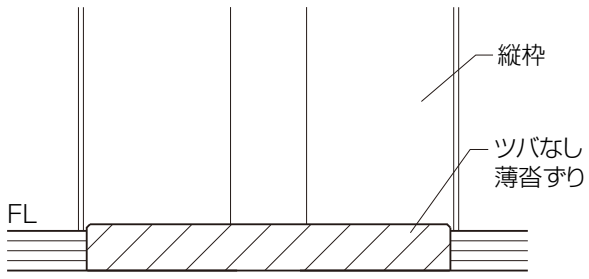
【ツバなし４方枠の場合】

※縦枠と上枠の組立ては、ツバ付４方枠の場合の記載を確認してください。

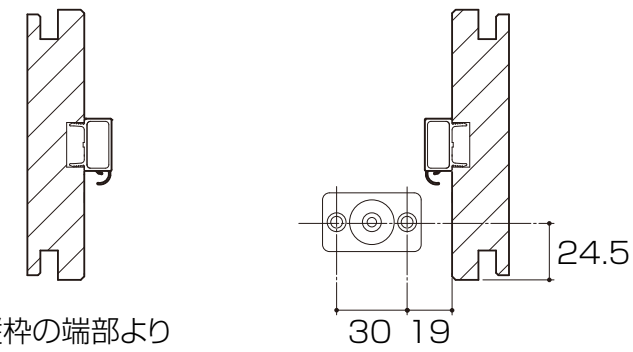
①下図のように各部材を組合わせ、同梱のねじで固定します。



②枠の取付け後、下図のように縦枠・ツバなし薄沓ずりにそって床材を張ってください。

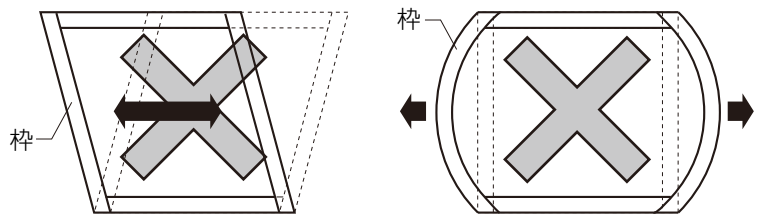


●薄沓ずりなしで納める場合は、縦枠をツバ付4方枠の場合は2mm、ツバなし4方枠の場合は12mm切断し下ピボットを指示の位置に固定してください。

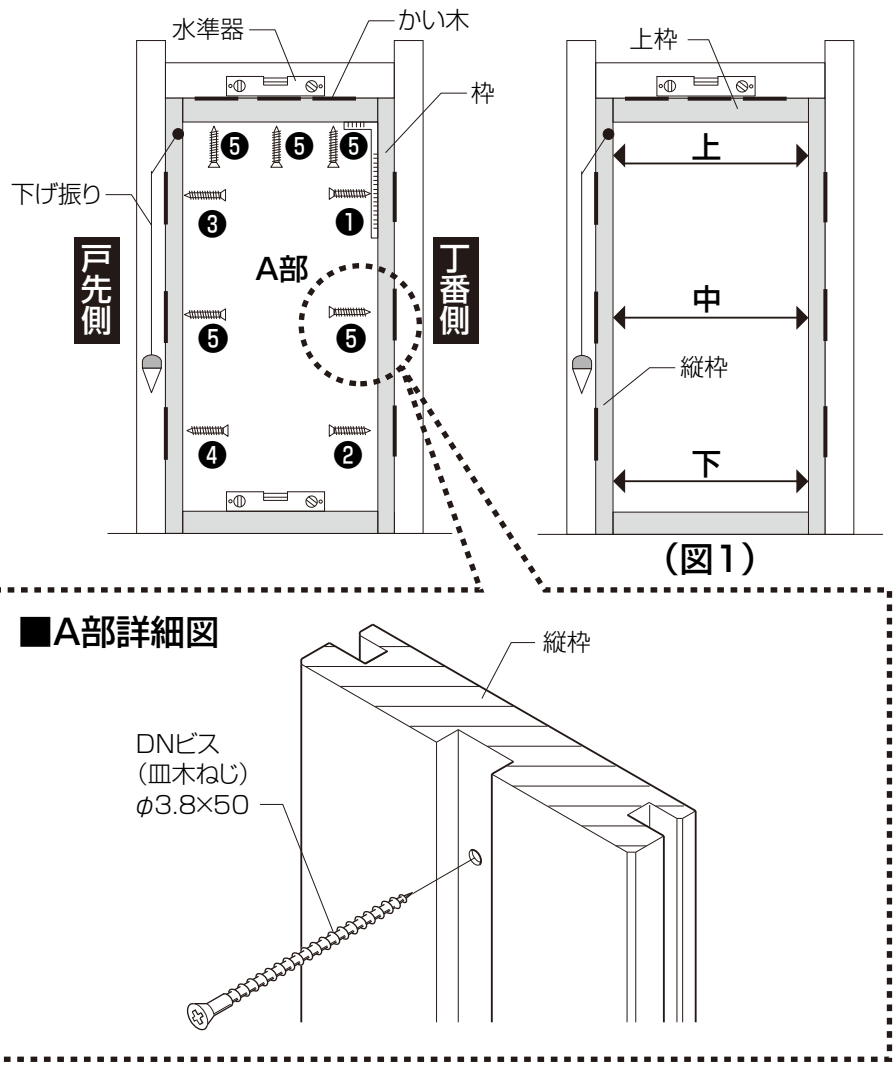


お願い

※組立てねじは、縦枠とねじ頭が面一になるまで締め込んでください。
※枠組立て後、揺らす・引張るなどの無理な力を加えないでください。破損の原因になります。
※ねじは、たたき込まないようにしてください。保持力低下の原因となります。



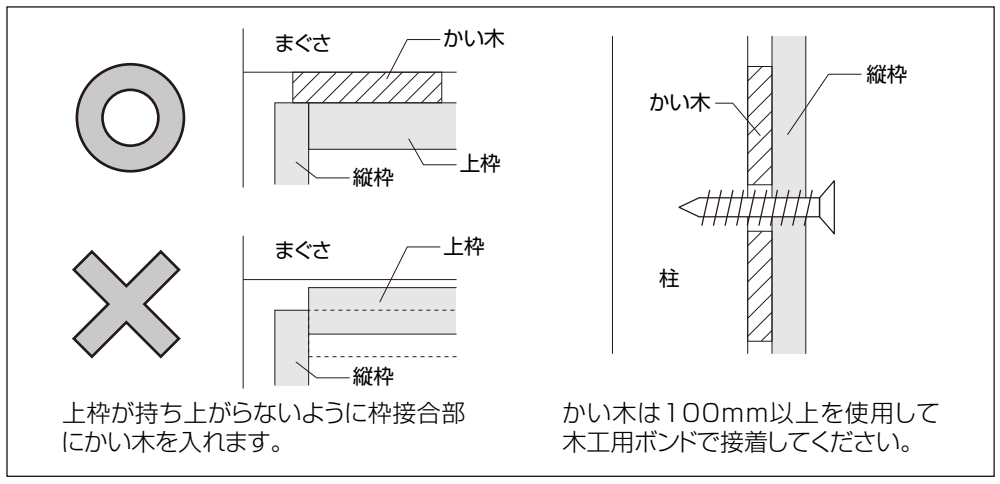
2 枠の取付け



(図1)

①枠の取付けは同梱のねじ（DN ビスφ 3.8 × 50）で取付けてください。
②枠を開口部にはめこんで、下枠･上枠の水平を確認してから、縦枠(丁番側)の❶を仮固定してください。
③下げ振りを使って垂直・倒れがないことを確認してから、縦枠（丁番側）の❷を仮固定してください。
④水準器で下枠・上枠の水平を確認してから縦枠（戸先側）の❸を仮固定してください。
⑤下げ振りを使って垂直・倒れがないことを確認してから、縦枠（戸先側）の❹を仮固定してください。
⑥枠の水平・垂直を再度確認して、上下、左右のすき間をかい木で調整し、開口寸法（W寸法）が上・中・下の個所で揃っていることを確認後、仮固定したねじおよび残りの❺ねじで本固定してください。（図 1）
※枠に水糸を張る等して枠が曲がっていないことを必ず確認してください。

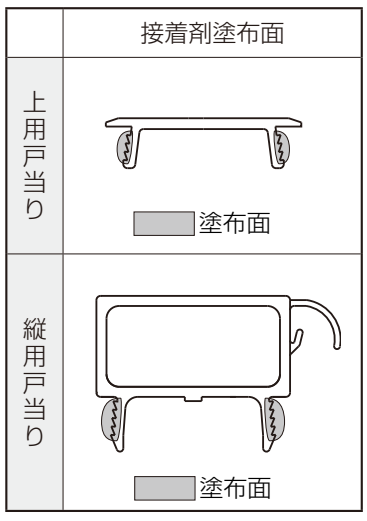
お願い
※枠の倒れ、傾き、たいこ、つづみ、ねじれがないように取付けてください。

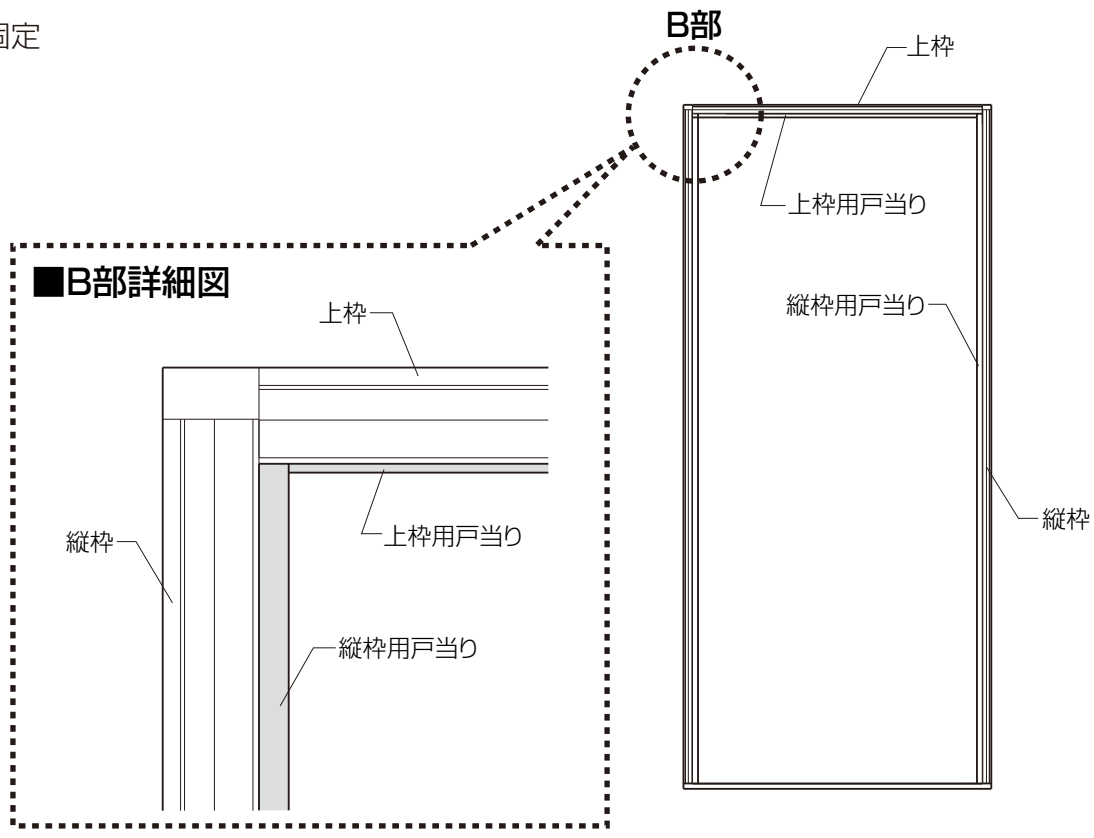


3 戸当りの取付け

①現場で戸当りの寸法を合わせて切断してください。
②戸当りの足の外側(リブのある面)に接着剤(現場手配)をつけ、固定してください(塗布面は下図参照)。
接着剤(現場手配)がはみ出した場合は、必ずふきとってください。
※縦枠用→上枠用の順に取付けてください。

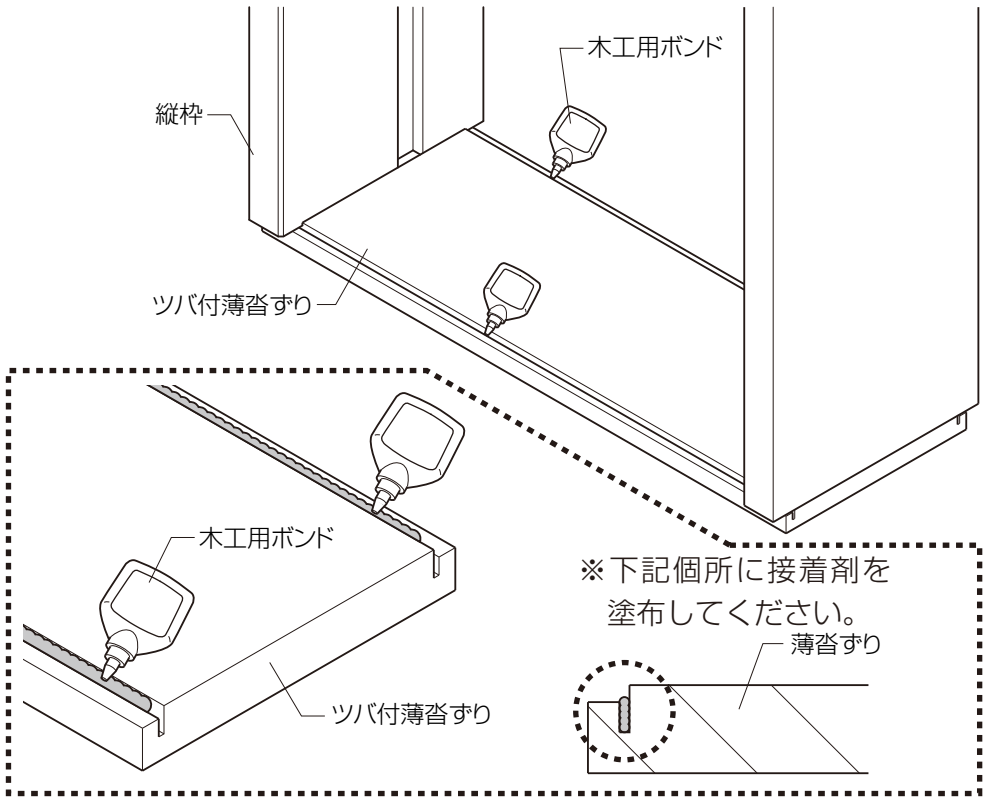
お願い
※ハンマーなどで直接たたき込まないでください。





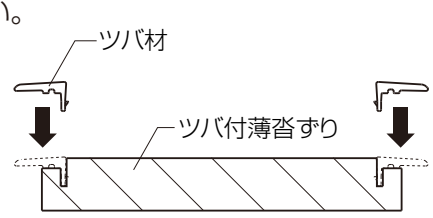
4 ツバ材の取付け（ツバ付薄沓ずりを使用する場合のみ）

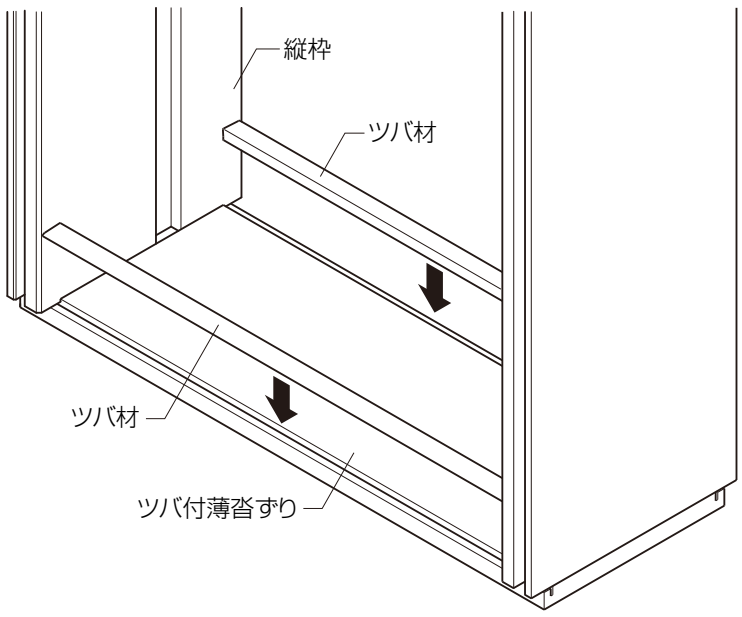
①現場でツバ材の寸法を開口に合わせて切断してください。
②薄沓ずりの溝に木工用ボンド（現場手配）を溝全長にすき間なく塗布してください。



③ツバ材を溝に手ではめこんでください。

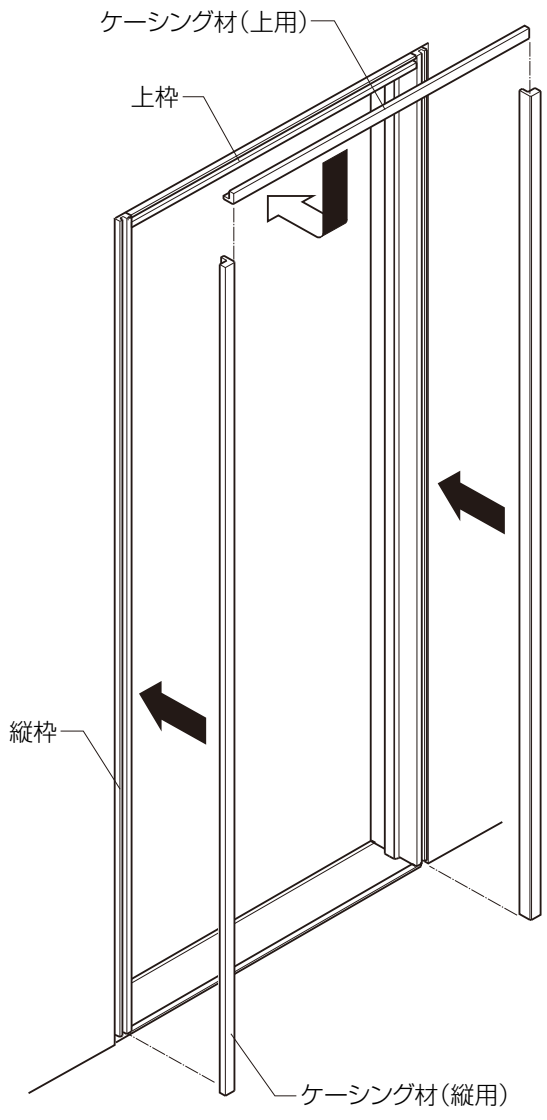
お願い
※ハンマーなどで強くたたき込まないでください。





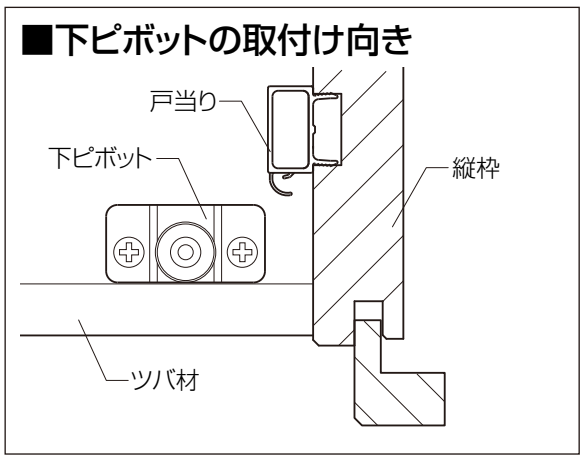
5 ケーシング材の取付け（ケーシングタイプのみ）

※壁材･床材を仕上げてからケーシング材を取付けてください。
①別梱のケーシング材を現場寸法に合わせて切断します。（上ケーシングは枠に合わせてあらかじめカットしてあります。）
②枠のケーシング溝へケーシング材を差込みます。
③ケーシング溝とケーシング材裏面に接着剤（現場手配）を塗布し、ケーシング材を固定します。
※仮止めする場合は、専用かくし釘をご使用ください。

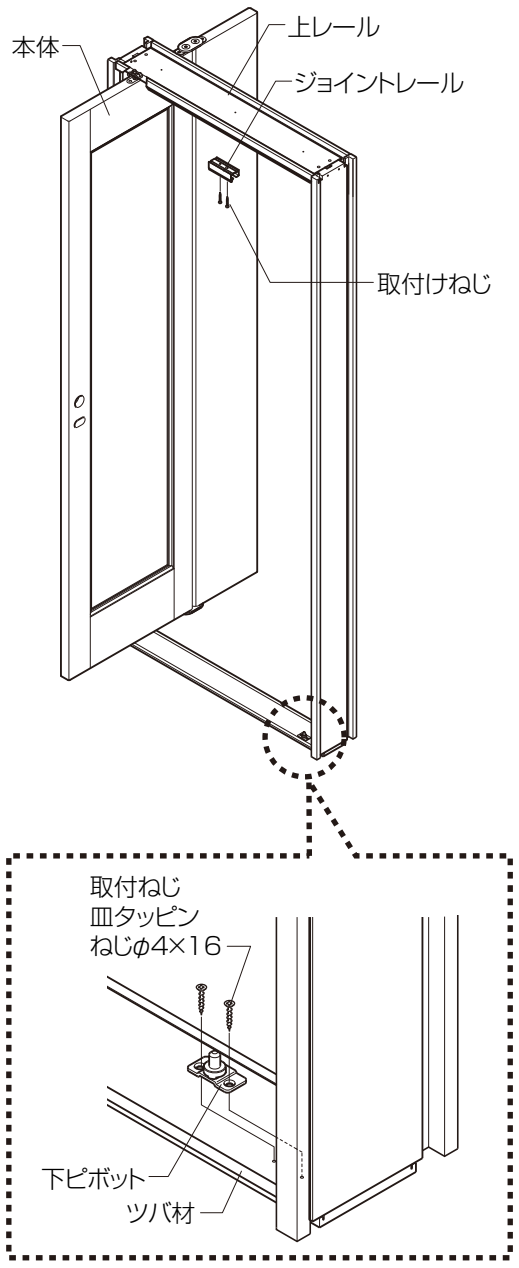


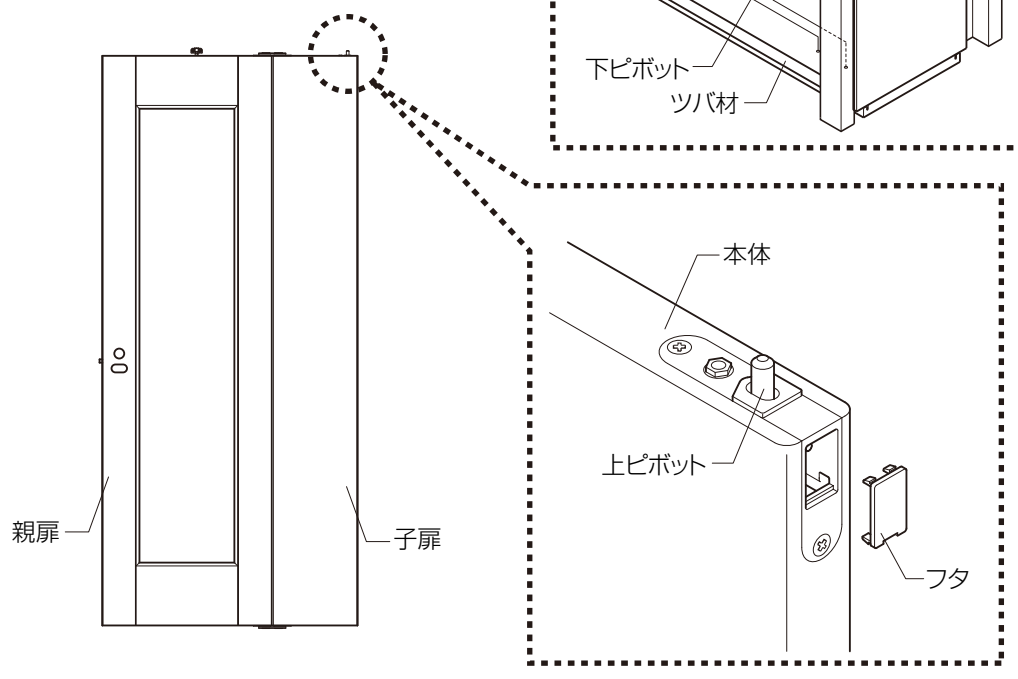
6 本体の吊込み

①薄沓ずりに下ピボットを固定します。
※ツバ付４方枠の場合には下ピボットは向きに注意して取付けてください。（下図参照）

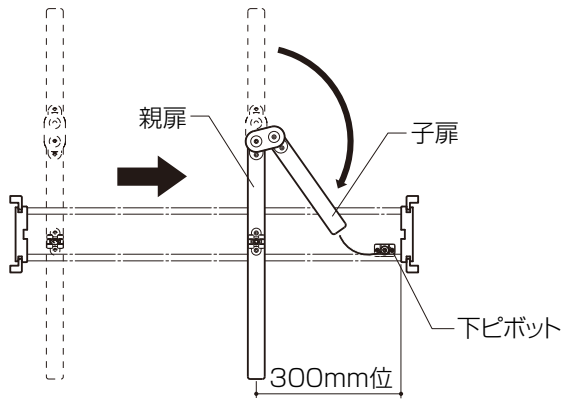


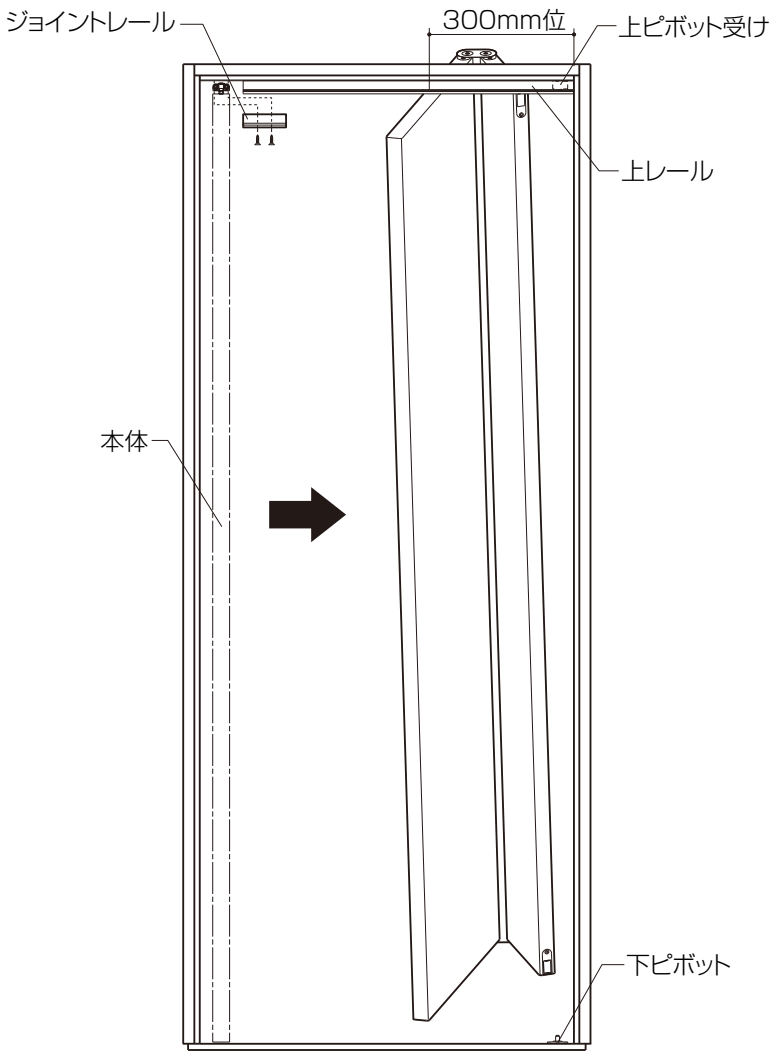
②上ピボットのフタを、マイナスドライバーなどで外してください。
③ジョイントレールを固定しているねじをゆるめて、ジョイントレールを外してください。（取外したねじは再度使用しますので、なくさないように注意してください。）

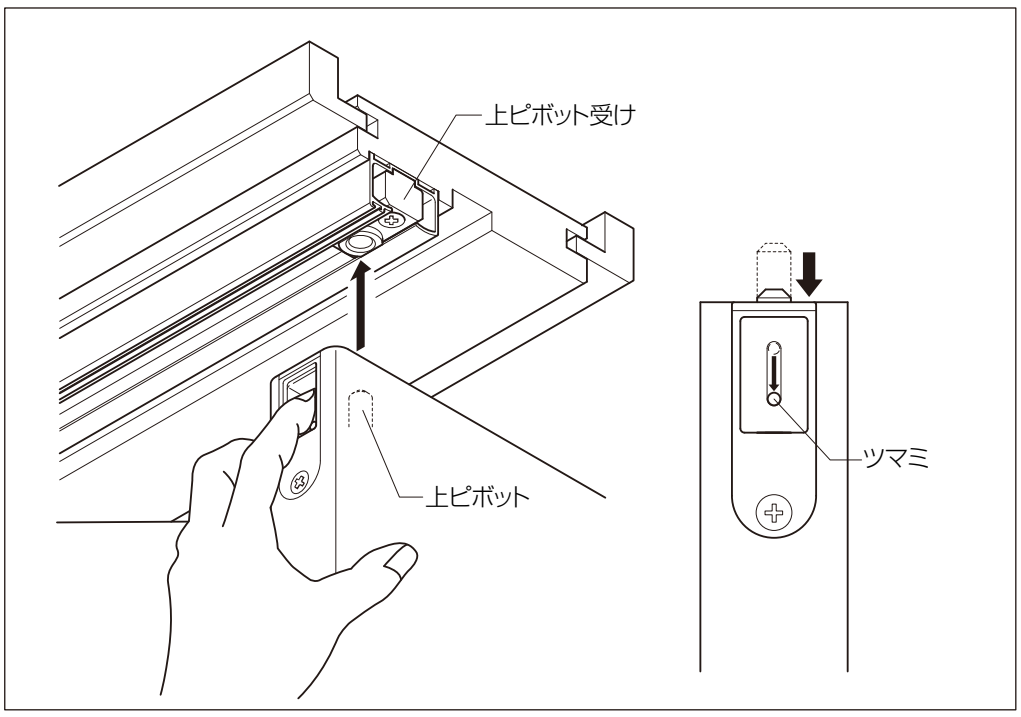


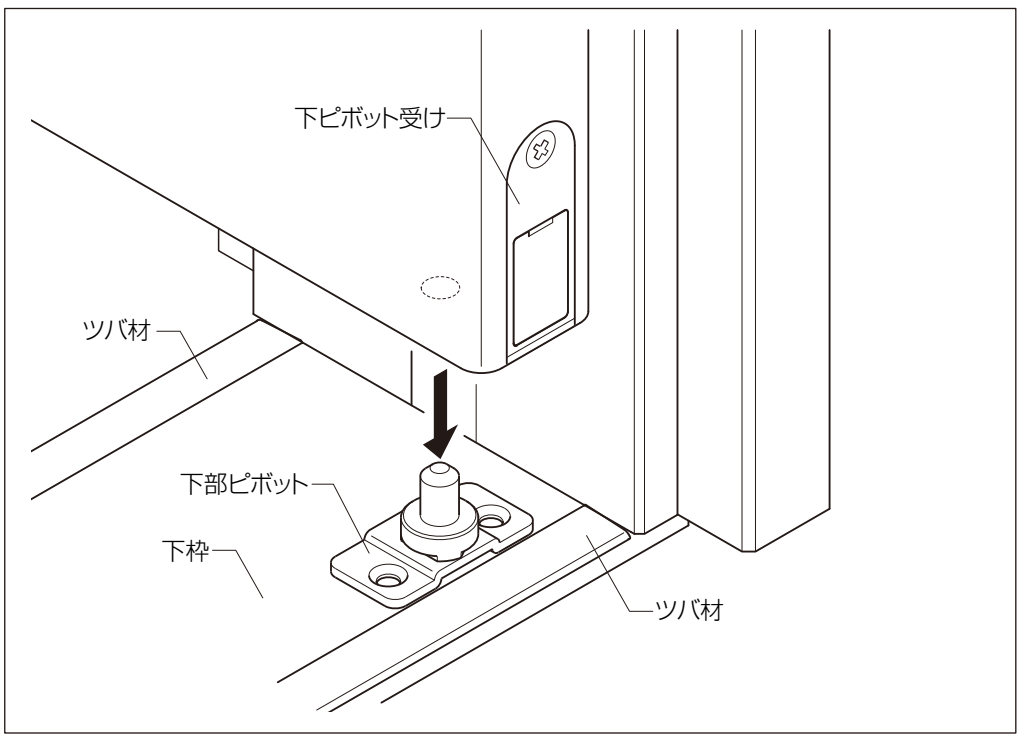


④本体を開いた状態で上枠と 90°にしてレールの端部より、本体を吊込みます。(吊車をレールと平行にしておいてください。)
⑤吊元側の縦枠から吊車が 300mm 位にきた所で、子扉を折りはじめて扉を斜めに持上げながら下部ピボットに本体の受けに入れ込んでください。
（子扉は完全に折りきらないようにしてください。）
⑥上ピボット内のツマミを下げてください。(軸も下がります。)レール内のピボット受けに軸を入れてください。
⑦ジョイントレールを固定して、上ピボットのフタをはめ込んでください。





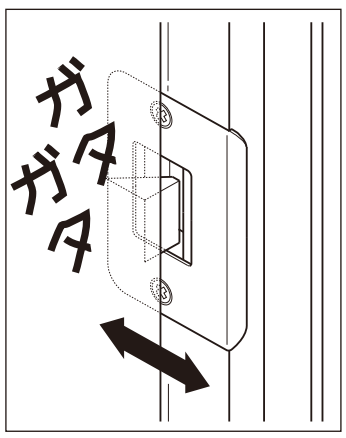




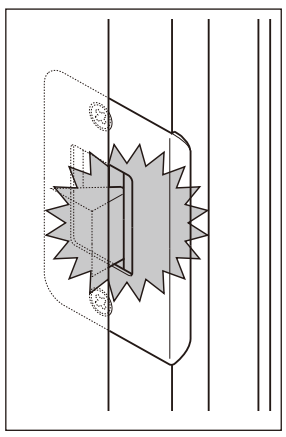
■建付け調整(ストライクによる調整)

●ラッチがストライクの中でガタついたり、ラッチがかかりにくい場合はプラスドライバーでストライクの調整ねじを回して調整してください。

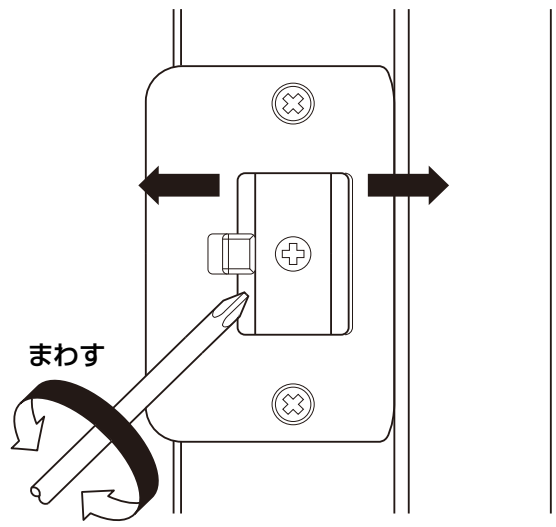
■ラッチがストライクの中でガタつく



■ラッチがかからない



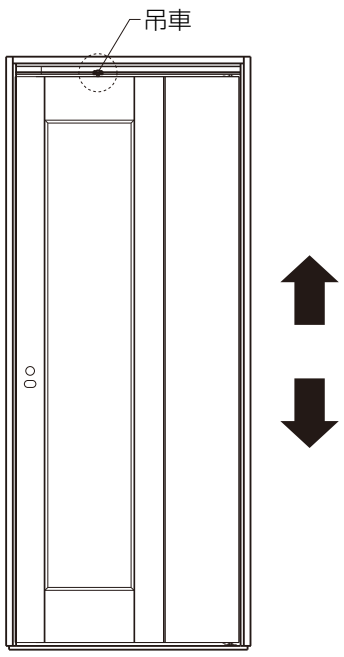
ストライク調整ねじ
可能調整範囲±3mm



■建付け調整(吊車およびピボットによる調整)

上下調整

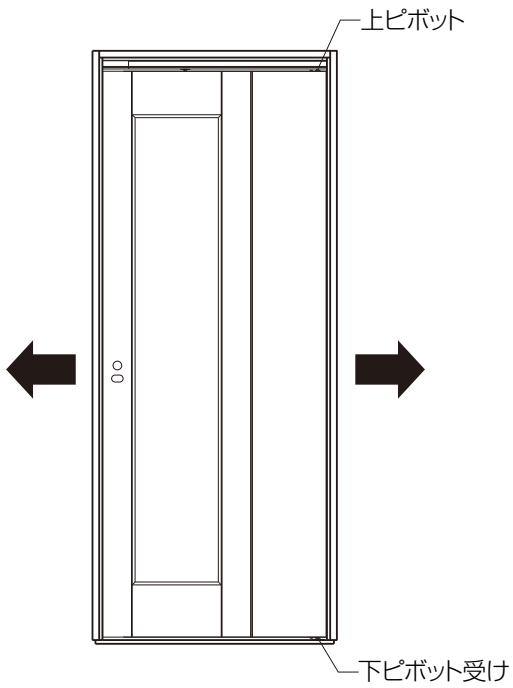
●吊車で調整します。調整幅は±3mmです。
●付属のスパナで時計回りに回すと扉があがり、反時計回りで扉が下がります。

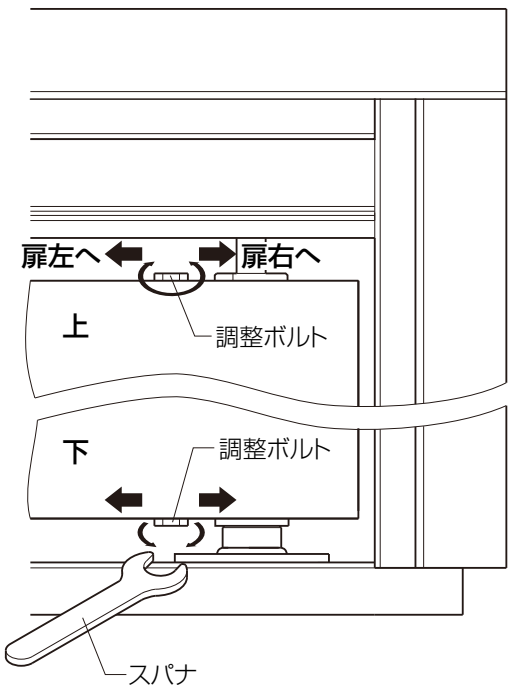


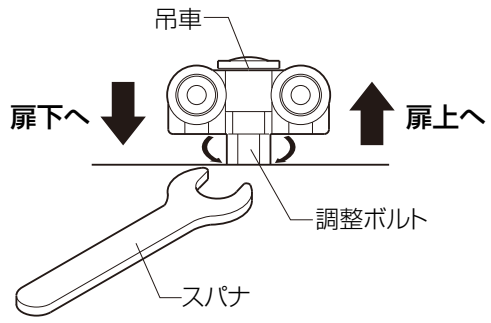
左右調整

●上･下ピボットで調整します。調整幅は± 2.5mm です。
●付属のスパナで上下ピボットの調整ボルトを回して調整します。

	扉を左へ	扉を右へ
上ピボット	時計回り	反時計回り
下ピボット	反時計回り	時計回り



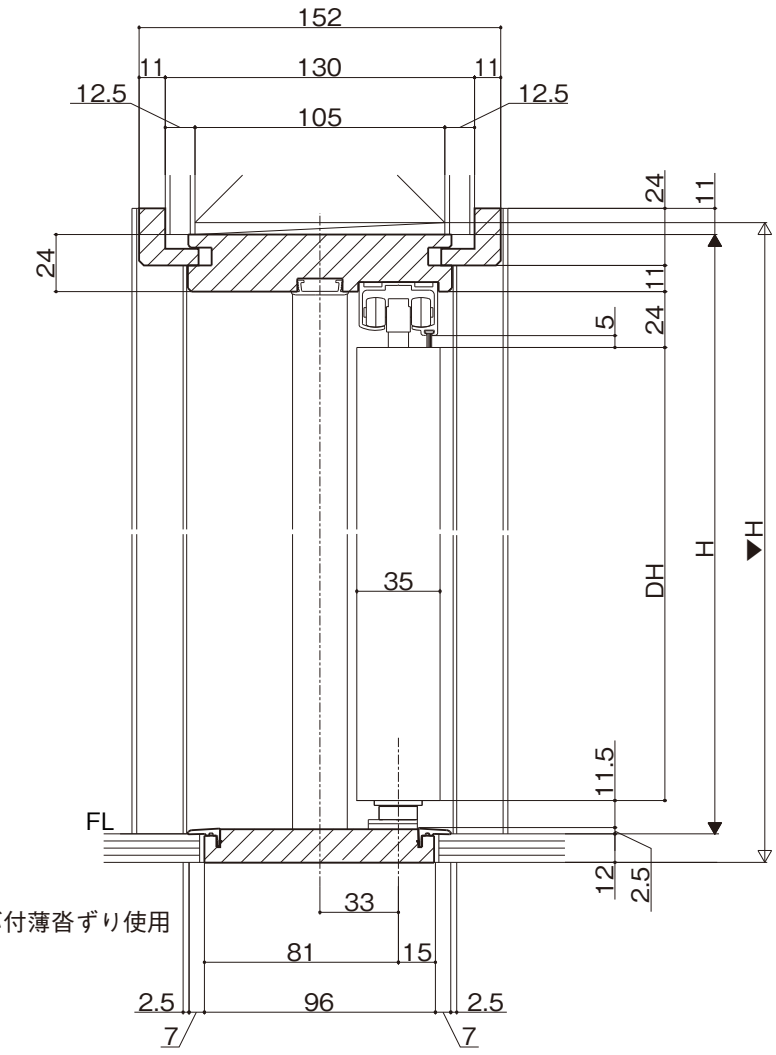


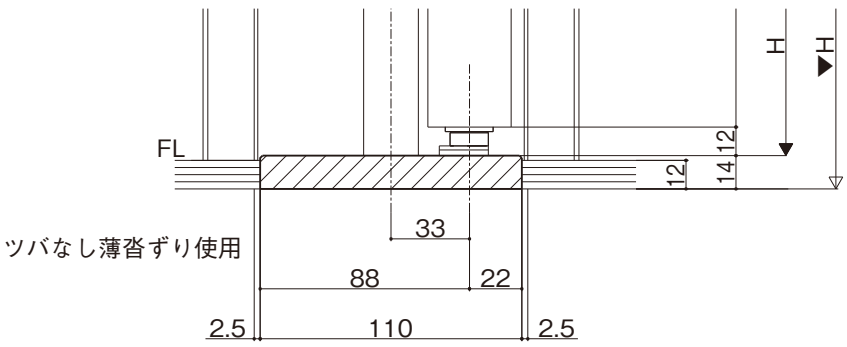


■納まり図

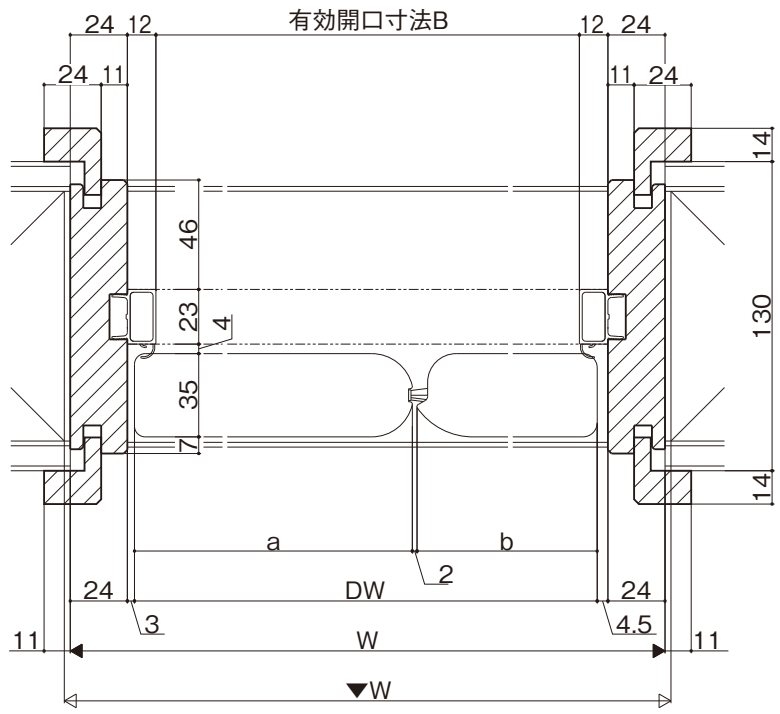
■中折れドアユニット　ケーシング付

●縦断面図

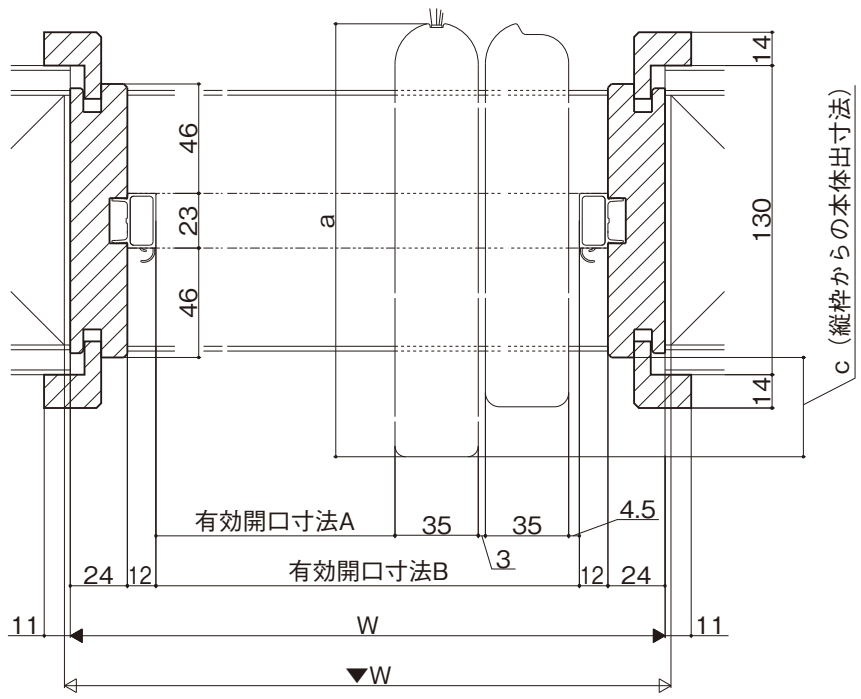




●横断面図(閉)



●横断面図(開)



	呼称	a寸法	b寸法	出寸法c
標準ドア	W07	484	238.5	250.5
トイレドア	W06	393	197.5	200.5

■中折れ　標準ドア

W呼称（枠外寸法）	A寸法	B寸法
W07(780)	630.5	708

■中折れ　トイレドア

W呼称（枠外寸法）	A寸法	B寸法
W06(648)	498.5	576